

世界へ発信！ 2つのユネスコ遺産

■問合せ 世界ジオパーク・縄文世界遺産推進室(☎ 82-3663)

中南米の火山防災関係者（JICA 研修員）を受け入れました

9月1日（火）から5日（土）までの5日間、JICA 北海道（札幌）が招へいした、中南米のメキシコ、チリ、エクアドルなどからの火山防災関係者の研修員を洞爺湖有珠山ジオパークで受け入れました。

滞在中、研修員は洞爺湖ビジターセンター・火山科学館や西山山麓火口周辺の散策路などを巡り、有珠山の2000年噴火の教訓と防災対策を学びました。

ジオパーク推進協議会ではこの研修と連動して、壮瞥町地域交流センター山美湖を会場に、ジオパークカフェ「火山地域における持続可能な地域づくり」を開催しました。伊達市の防災アドバイザーである宇井忠英先生による2000年噴火対応の講演に続き、研修員が自国の噴火対応や避難の経験を報告し、会場の市民と活発に意見を交わしました。国境を越えて火山防災の知見を分かち合う、貴重な機会となりました。



誰にでもすぐできる！火山実験の器具を貸し出しています！

火山の仕組みや火山災害を楽しく学べる実験装置一式を貸し出しています。学校の授業や地域のイベント、自主学習会などで、火山防災への理解を深める体験学習にぜひご活用ください！

貸出器具：【溶岩ドーム実験装置】昭和新山などで見られる溶岩ドームを再現できます。

貸出対象：学校や地域の各種団体・イベント主催者など（数量は事前にご相談ください）

用意するもの ・クエン酸 小さじ1 ・重曹 小さじ1 ・グミ 2～3粒
・お湯 大さじ2 ・割りばし 1本 ・実験装置
※実験装置以外の消耗品は各自で用意してください。

<実験手順>

- ①お湯で溶かしたグミを容器に入れる
- ②クエン酸を加えて混ぜる
- ③重曹を一気に入れて混ぜる
- ④ブクブク泡が噴き出して大成功！

クエン酸と重曹が反応して二酸化炭素の泡が発生。これは火山でマグマのガスが膨らんで噴火する仕組みとそっくり。溶けたグミのねばりがマグマの粘り気を表しています。

